



第 23 回北海道乳腺超音波研究会

『乳癌検診における MMG と US の同時併用検診を考える』

— 総合判定方式の施設からの報告をふまえて —

今回の研究会は今後の研究会の新たな発展のための試みとして、発案から企画および運営に至るまで全てを札幌厚生病院の北口技師を中心とした本研究会の世話人が担当し、これまで以上に会員の皆様の要望に広く応えるべく、研究会を行う事と致しました。当日は新しい発想の下、世話人が企画した内容に沿って私が司会進行をさせていただきながら会員の皆様と一緒に勉強していければと考えます。是非ご期待ください。

代表世話人 白井秀明（札幌ことに乳腺クリニック）

J-start の結果より、MMG と US の併用検診の有用性が報告されたことは記憶に新しいと思います。これに伴い全国の自治体で併用検診が始まりつつあり、札幌市も 2019 年 8 月より総合判定方式による併用検診を取り入れていくこととなりました。普及させる課題として、システムの構築、MMG を読影する技師、US を読影する医師不足が挙げられます。そこで、実際にこの検診を導入している施設からの報告を聞き、この検診の概要をまず知ってもらいたいということで企画いたしました。第 1 部では、この検診方法にどのようなメリットやデメリットがあるのか検診精度や施設紹介を含め発表していただきます。これらをもとにディスカッションを行い、第 2 部では総合判定方式による症例検討を行います。

検診施設の方はもちろんの事、精査施設の方々も含めて活発な discussion をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、多数のご参加をよろしくお願いいたします。

世話人 北口一也（札幌厚生病院）

日時：2020年2月29日（土） 14:00～16:30

会場：札幌厚生病院 新棟3F 大会議室

参加費：2000円

受付：13:00～（開場13:30～）

プログラム	
13:00～（開場は13:30～）	受付開始
14:00-14:05	開会の辞
14:05-15:25	第1部 乳癌検診におけるMMGとUSの同時併用検診 を考える』～総合判定方式の施設からの報告をふまえて～
15:25-15:30	休憩
15:30-16:20	第2部 症例検討
16:25	閉会の辞

共催 札幌臨床検査技師会 日臨技生涯教育研修制度 一般教育研修課程「専門教科 20 点」